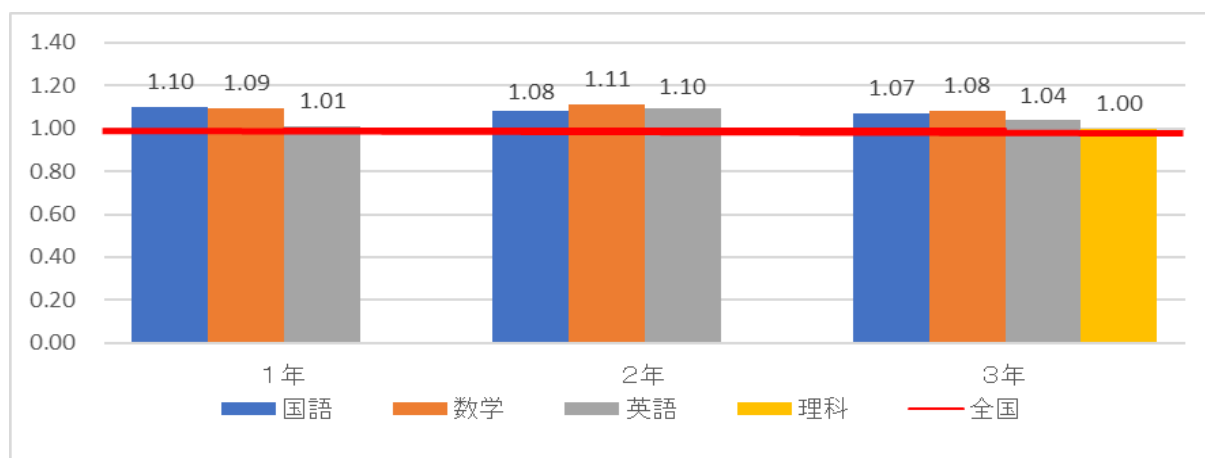


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第六中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査
中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	1・2年生ともに全国平均を上回る結果であった。すべての領域において全国平均を上回った。引き続き、根拠に基づいて自分の意見や考え表現する授業を教科横断的に取り組んでいく。
	数学	1・2年生ともに全国平均を上回る結果であった。ほぼすべての領域において全国平均を上回った。少人数授業によるきめ細かな指導を引き続き行い、次年度に向けての指導を強化していく。
	英語	全学年で全国平均を上回る結果であった。ほぼすべての領域において全国平均を上回った。1年生「書くこと」「聞くこと」において少し課題が見られた。聞いて書く活動につなげる指導の充実を図っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	すべての領域において全国平均を上回る結果であった。今後も、読み手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する指導を行っていく。
	数学	すべての領域において全国平均を上回る結果であった。今後も、「図形」に係る知識及び技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を育む指導を行っていく。
	理科	すべての領域において全国平均と同等の結果であった。今後も基礎・基本の定着をもとに、活用課題につながるよう指導を行っていく。
	質問紙	「話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決める」や「自分の考えを深めたり、話し合う活動に取り組む」の質問において、肯定的な回答が全国平均を上回った。引き続き授業や様々な場面で、対話的で深い学びができるよう取組を進めていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

全国学力・学習状況調査、市到達度調査の結果を踏まえ、課題の共有と対応策の構築を図る。また、ねやがわスタンダードに基づき、ディベート教育や家庭学習ノートなど、中学校区での統一した取組を行い、小中学校の学習体制の段差を解消するシステムづくりに努めている。小中連携会議においては各教科の課題や対策を共有し、校区の子どもの実態把握に努めている。

【 学 校 】

研修部を中心とした授業力向上に関する研修や研究授業を行い、教職員のスキルアップを図る。今年度は「協働的な学びを通して、考えを深める授業」を校内の研究テーマとして授業交流なども実施している。1・2年生を対象とした数学・英語の少人数授業の展開や、放課後勉強などにより、各教科における基礎的な知識の向上を図っている。ディベートをはじめ、各授業において話し合いや発表の場を適宜入れ、「考える力」の育成を図り、「主体的、対話的で深い学び」を追求した授業づくりを実践している。